

気づいたこと

シングルで子持ち、特に資格も経験もない私。離婚した当時は、将来の不安を毎日感じながら必死に育児に仕事と奮闘していました。「1人で頑張らねば、1人で何とかしなければ」。もうその思いばかりで、毎日余裕がありませんでした。

そんな時、子どもがインフルエンザにかかり入院。母親ならば子どもの体調を気にしなければいけない時。それなのに、私といったら正直「また？ 仕事休まなきゃいけないじゃないの。クビになつたらどうしよう」とそのことばかりが気になりイライラ。具合の悪い子どもに当たったり、子どもが話しかけてきても無視したりしていました。

そんな状況を見かねた担当の看護師さん。「お母さん、少しお話しませんか」と私を休憩室に呼んでくれました。

私の話を一通り黙って聞いてくれた後「今のお母さんにとって大切なことを何でも、何個でもいいので書いてくれませんか」と。「なんで？」と不思議に思いましたが、そ

【宮城県・小谷野みゆき】

の夜、子どもが病室で寝た後に休憩室で筆を取りました。書いているうちに子どものことばかり書いている自分に気が付きました。それを何度も読み返すと、今までの自分が恥ずかしくなり、涙があふれて、忘れていた一番大切なことを思い出し、病室に入り、子どもを抱きしめました。

看護師さんは、私の今一番考えなければいけないことを思い出させてくれました。その紙を看護師さんに見せると、うつすら涙を浮かべて、読み終わると、にっこり笑って「これは心の隅にでもいいので覚えておいてください」と一言。

その3日後子どもは無事退院しました。言葉数はとても少ない看護師さんでしたが、私にとって心の救世主。今でも忘れずに、心に余裕をもって子どもと接することを心掛けています。



一般部門
優秀賞